

大会講演予稿集と大会参加費の見直し案への会員からの意見募集について

(公社) 日本気象学会理事会

1. はじめに

第39期理事会では、大会講演予稿集(以下、予稿集という。)及び大会参加費の見直しについて、大会アンケートを参考にしつつ、理事会・支部長会議・企画調整委員会・講演企画委員会等で、議論を積み重ねてきました。第40期理事会ではその結果を踏まえ、

①大会での議論の活性化を目的として、大会参加者全員に電子版予稿集を配布することとし、予稿集代を大会参加費に含める。

②大会参加費の区分を見直し、他の学会と同様に「参加費」と「投稿料」に分離する。

こととし、以下に予稿集と大会参加費に関する見直し案を作成しましたので、会員各位からの意見を募集します。

2. 予稿集のあり方について

大会時に行っているアンケートには、予稿集の代金を参加費に含めてほしいという声が多く寄せられています。そのために参加費自体は値上げになっても良いとのご意見も多くいただいております。事前配布の継続を望む意見も複数頂戴しています。

(参考サイト：「[2017年春季大会アンケート結果の報告](https://www.metsoc.jp/2017/10/24/9479)

[\(https://www.metsoc.jp/2017/10/24/9479\)](https://www.metsoc.jp/2017/10/24/9479)」、「[2017年秋季大会アンケート結果の報告](https://www.metsoc.jp/2018/05/14/12046) (https://www.metsoc.jp/2018/05/14/12046)」。)

また、ここ数年、CD-ROMやファイル等で予稿集の電子ファイルでの提供を試験的に行ってきました。アンケートでは、大変好評をいただいています。さらに、電子ファイルだけで良いとの意見も多くいただいています。

これらの状況等を踏まえ、冊子体の予稿集を廃止し、大会参加費に予稿集代を含み大会参加者全員に事前に電子版予稿集を配布することにより、大会での議論の活性化を図ることにします。

3. 大会参加費のあり方について

現在の気象学会の大会参加費は、発表の有無、所属、会員か否かで4種類の区分があります(講演者AおよびB、聴講者AおよびB)。さらに、講演者と聴講者でAとBの区分の意味が異なるわかりにくさもあります(講演者のA/Bは所属の別、聴講者のA/Bは会員か否か)。一方、多くの学会、国際研究会では、講演者と聴講者に「参加費」の区別がなく、両者に差をつける場合は投稿料を別途設定することが行われています。これは、参加費によって、聴講の権利が得られ、投稿料によって、予稿の予稿集への掲載と大会での発表の権利が得られるという考えに基づきます。気象学会でもそれに倣うと料金体系がわかりやすくなります。また、2件目の発表に対して追加の投稿

料の設定が可能になります。

4. 大会参加費について

大会参加費を「参加費」と「投稿料」に分離します。多大な負担となっている講演企画委員会の負担軽減のため、大会講演予稿集の編集や参加者全員への配布等を外注化し、昨今の物価の上昇も勘案し、これまでと同程度の収益を確保するため、予稿集の定期購読料1冊の代金3000円分の増額を目安として大会参加料金体系の見直しを行います。

新たな「参加費」は、多くの関連学会等で実施されているのと同様に、予稿集代を含めたものとなります。また、会員となるメリットをより大きく確保することとします。大会参加者で、講演を希望する方には「投稿料」をお支払い頂きます。見直し案は以下のとおりです。

- 参加費（会員）： 前納5000円・当日6000円
- 参加費（非会員）： 前納9000円・当日10000円
- 投稿料A： 6500円（ただし投稿料Aの同一大会の2件目の投稿料は5000円に割引）
- 投稿料B： 3000円（発表1件あたり）

投稿料の区分はこれまでと同じで、次のようになります。

- ・投稿料A： 研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）による投稿
- ・投稿料B：投稿料 A に該当しない講演者による投稿

（参考：現行の大会参加費）

- 講演者A： 8000円
- 講演者B： 5000円
- 聴講者A（会員）： 前納3000円・当日4000円
- 聴講者B（非会員）： 前納5000円・当日6000円

現行と見直し案の大会参加費の比較

| 現行 | | 見直し案 | | (円) |
|-------|------|-----------|-------|------|
| 区分 | 金額 | 区分 | 金額 | 値上額 |
| 講演者 A | 8000 | 参加費+投稿料 A | 11500 | 3500 |
| 講演者 B | 5000 | 参加費+投稿料 B | 8000 | 3000 |
| 聴講者 A | 3000 | 参加費（会員） | 5000 | 2000 |
| 聴講者 B | 5000 | 参加費（非会員） | 9000 | 4000 |

予稿集を定期購読（3000円）されている会員には、現状とほぼ同程度の負担に収まります。参加費に予稿集代が含まれますので、予稿集代を研究経費で支出することが難しく自費での購入または購入の見送りを余儀なくされている会員にはメリットが大きいと考えます。予稿集を購読されていない会員にとっては負担増とはなりますが、事前に電子版予稿集を参照するこ

とで講演内容の理解が深まり、大会での議論がより有意義なものになると考えています。

ぜひともご理解を賜りますようお願いいたします。

5. 予稿集配布の具体について

以下のように実施します。

- ①大会前：大会Webページに予稿集をパスワード付きで掲載し、参加者が取得できるようにします。
- ②大会終了直後：会員ページで公開します。
- ③大会終了半年後：一般に公開します。

6. 実施時期

本見直しは、2019年度春季大会から実施します。

7. 意見募集

上記予稿集と大会参加費の見直しにつきまして、学会ホームページに掲載し、会員の皆様のご意見をいただくことといたしました。

○意見募集の詳細

- (1)対象：大会講演予稿集と大会参加費の見直し案
- (2)期間：2018年9月21日～10月24日（必着）
- (3)提出方法

インターネット：学会ホームページの「大会講演予稿集と大会参加費の見直し案に対する意見募集」

<https://www.metsoc.jp/yokoshu-sankahi-minaoshi-2018>

(4)その他

- ①ご意見の提出にあたっては、会員番号を明記ください。
- ②自由記述でご意見をお寄せください。
- ③皆様からいただきましたご意見につきましては、個別に回答は致しませんが、大会講演予稿集と大会参加費の見直し案（最終案）の作成に際して参考とさせていただきます。

8. 今後の主要なスケジュール

2018年9月21日～10月24日：大会講演予稿集と大会参加費の見直し案に対する意見募集。

2018年11月：理事会において、大会講演予稿集と大会参加費の見直し案（最終案、以下最終案）の承認。

2019年12月末：「天気」において報告。

2019年2月～：最終案に従い、大会講演予稿集と大会参加費の見直しを実施。

2019年5月：総会において報告。

9. その他

既にお知らせいたしました中期課題（会員サービスの向上等）につきましても、今後検討を進め、適宜、会員の皆様にお知らせします。

以上